

平成27年12月15日

第4次基本構想・後期基本計画（案）に対する意見及び検討結果について（概要）

小金井市長期計画審議会では、第4次基本構想・後期基本計画（案）に対する市民提言制度（パブリックコメント）を実施しました。その結果について、下記のとおり公表します。

なお、お寄せいただいた御意見と検討結果については、小金井市ホームページに掲載して公表するほか、企画政策課（市役所本庁舎2階）、広報秘書課広聴係（市役所第二庁舎1階）、情報公開コーナー（同6階）、公民館各館、福祉会館、婦人会館、総合体育館、図書館（本館）、保健センター及び東小金井駅開設記念会館で御覧いただけます。

記

1 施策の名称 第4次基本構想・後期基本計画（案）

2 意見の募集方法

(1) 意見募集期間

平成27年10月14日から11月13日まで

(2) 意見提出方法

直接持参、郵送、ファクス又は電子メール

3 意見の提出状況

(1) 提出人数

区分	直接持参	郵送	ファクス	電子メール	計
個人	1人	1人	0人	0人	2人
団体	0人	0人	0人	0人	0人
計	1人	1人	0人	0人	2人

(2) 延べ意見数

6件

(3) 意見内容の内訳

ア 環境と都市基盤分野	1件
イ 地域と経済分野	1件
ウ 文化と教育分野	2件
エ 福祉と健康分野	1件
オ その他	1件

4 寄せられた意見と検討結果

別紙のとおり

5 問合せ先

小金井市企画財政部企画政策課企画政策係

電話 042-387-9800

FAX 042-387-1224

E-Mail s010199@koganei-shi.jp

(別紙)パブリックコメント結果

第4次基本構想・後期基本計画(案)に対する意見及び検討結果について

意見募集期間:平成27年10月14日から11月13日まで

意見提出数 :2人・6件

No.	柱	施策NO.	施策名	寄せられた意見	意見に対する検討結果
1	環境と都市基盤	3	みどりの創出	「公園建設」:子供のための公園だけでなく大人のための公園も欲しい。夜のライトアップ程度の小手先の策でなく、狭くてもよいから都心にある公園の分園と呼べるくらい、市のシンボルとして大人が愛着を感じ自慢でき憩える設計の公園を作るという発想が欲しい。	<p>・公園は、子どもから高齢者まで多くの方に親しまれている憩いの場であり、みどり豊かな小金井市にとって、自然を身近に感じることができる場です。</p> <p>本計画案では、公園整備について、P.57「施策3:みどりの創出」の主な取組(2)都市計画公園の整備・拡大に位置付け、可能な限り市民の声を聴きながら整備を行っております。</p> <p>大人のための公園ということのご提案ですが、例えば、小長久保公園や梶野公園など市民のボランティアが花壇等を管理し、四季折々の見事な自然美など、まさに自慢できる公園も整備されています。今回いただいたご意見についても、今後の公園整備の際の参考としていくべきものと考えます。</p>
2	地域と経済	29	地域資源をいかした観光の推進	「観光施策」:『小金井まち歩きマップ』等にあるように市内には観光資源が既に多々ある。それら身近な場所や親しい物を、勤労者や学生も普段から愛着を感じ自慢できるような観光対象として育て、来訪者にいつでも案内できることを目標にして企画し整備してほしい。	<p>・審議会でも、小金井市には、素晴らしい地域資源があり、この発掘とPRが大切であること、小金井再発見を推進していくことを意見としてあげています。</p> <p>ご意見にもあるとおり、市内の方々や近隣地域の方々に楽しんでいただける魅力を備えた観光資源は多数あると認識しております。</p> <p>また、市の産業振興の柱のうち、伸びしろという面では観光がもっとも期待できると考えています。</p> <p>P.113「施策29:地域資源をいかした観光の推進」にも位置付けているところですが、今後事業の中でも強化していただきたいと思います。</p>

No.	柱	施策NO.	施策名	寄せられた意見	意見に対する検討結果
3	文化と教育	42	生涯学習活動の推進	年代を超えた交流の促進(世代間交流)につき、色々な方と知り合って何かを一緒にするような仕組みが必要だと思いました。	<p>・審議会でも、多様な世代の交流やつながりといった視点について議論してきたところです。</p> <p>7月に実施した「こがねいまちづくりカフェ(市民懇談会)」や10月の「市民フォーラム」においても、人と人とのつながりや世代間のつながりといったことについて、参加した市民の方からもご意見をいただきました。また、ご参加いただいた方のアンケートでは、9割以上の方が今後もこのような会に参加してみたいと回答いただき、こうしたつながり・きずなの重要性を感じたところです。</p> <p>世代間交流については、「施策50:高齢者の生きがいの場づくり」(P.167)に世代間交流の促進を位置付けています。また、いただいたご意見を踏まえ、「施策42:生涯学習活動の推進」(P.145)の主な取組を、「世代間の交流も含め、多様な世代が参加しやすいよう夜間や土・日曜日の講座を充実します。」と修正します。</p>
4	文化と教育	42	生涯学習活動の推進	<p>「文化事業」:高齢者向けが大半の生涯教育や子供への教育活動に加え、勤労者や学生に向けて会社や学校で触れられない社会教育という観点で、彼らが参加したい内容、参加できる開催時間設定で行うという発想が欲しい。</p> <p>フォーラムの事例であげられた、“大学生に子供を教える”という内容では広く社会や日本の未来に関わりたいと思う意欲のある若者の心を捉えきれないだろう。</p> <p>小金井市から世界が眺められる、というくらい広い視野が欲しい。(例えば、世界連邦宣言自治体全国協議会への参画のフィードバック等はその類の絶好例と思うが。)</p>	<p>・市では、大学や近隣市と連携した生涯学習活動の支援やボランティアの育成活動、また、高齢者等の学習支援を進めており、同世代及び異世代の方々が交流することによる学びあいの地域づくりを目指しています。</p> <p>公民館は誰もが気軽に立ち寄り、共に学び、共にふれあう生涯学習の機会として各種講座を実施しており、勤労者、学生に向けての講座も実施しています。公民館を利用される方の状況からも高齢者向けの事業が多くなっていますが、H26年度に開設した貫井北センターでは、若者コーナーや広いフリースペースを設け、レッツクリエイト！若者コーナーなど若者向けの講座も増えています。</p> <p>こうした講座の内容については、市民の方で構成された企画実行委員の会議や準備会にて企画、決定されており、今後も市民の自主的・主体的な活動の推進にも寄与するよう充実を図っていくべきと考えています。貴重なご意見として今後の参考としていくべきものと考えます。</p> <p>なお、いただいたご意見を踏まえ、「施策42:生涯学習活動の推進」(P.145)の主な取組を、「世代間の交流も含め、多様な世代が参加しやすいよう夜間や土・日曜日の講座を充実します。」と修正します。</p>
5	福祉と健康	50	高齢者の生きがいの場づくり	<p>「福祉」:シルバー人材センターはもっぱら高齢者の生きがいを満たすためその能力範囲内で行うものとの説明であったが、先端ビジネスの分野と手法を取り入れて勤労者や学生の知恵を使うという発想も欲しい。その方が高齢者により良い刺激となることがあるのでなかろうか。</p>	<p>・シルバー人材センターについては、高齢者の就労の機会の拡充のため、いただいたご意見を参考として、事業の中で具体化を含め支援していくことが必要と考えます。</p>

No.	柱	施策 NO.	施策名	寄せられた意見	意見に対する検討結果
6	その他	-	-	<p>今回の基本構想／基本計画の随所で、「市民・住民・家庭」と言われているが、小金井市民で市外に通う勤労者や学生からの視点が欠けているようだ。</p> <p>決して高齢者や子供(母子)を重視する市行政を軽んじるものでないが、未来に希望ある市の構築を目指すならば、活力の旺盛なサラリーマン(男女、官民)や学生(高校生・大学)の関心に応じて日常的な参加を確保する街であることが不可欠だと思う。</p> <p>また、むしろそうした「大人の街」を築いて子供と高齢者の参加を誘うことによって実現できる有意義な教育や福祉が多いと思う。</p> <p>勤労者や学生が日中過ごす他の区や市の魅力に負けない魅力を小金井市内に築けるような方針で構想と計画の策定に取り組んでほしい。(市外に通う彼らは、パブコメ資料21頁の年齢別人口統計から推測すると、3～4万人もいるのではないか。)</p>	<p>・審議会でも、多様な世代の交流やつながりといった視点について議論してきたところです。また、7月に実施した「こがねいまちづくりカフェ(市民懇談会)」や10月の「市民フォーラム」においても、人と人とのつながり、世代間のつながりといったことについて参加した市民の方からもご意見をいただきました。</p> <p>日常的な参加を確保する街といった視点では、市外へ通う方や学生も含め、多様な市民参加の推進(P.203:公募市民登録制など多様な手法による参加の拡大など幅広い世代の市民参加を推進する。)や小金井市の価値について積極的にPRしていくシティープロモーション(P.201)についても、市としても努力していただきたい点ですが、私たち市民としても、小さなこと(人に声をかけるなど)でもできることから始めることやまちづくりへの参加が楽しいことを参加している人から伝えていくことも大事ではないかと考えています。</p> <p>なお、いただいたご意見を踏まえて、施策65市民参加の推進(P.203)に、「新たな市民参加手法の研究について」を追記させていただきます。</p> <p>また、まちづくりにそうした視点も重要であるとの考えから、重点プロジェクト6「きずなを結ぶまちづくりプロジェクト」の目指すべき姿を「子どもから大人まで誰もが地域での生活を楽しみ、ふれあいとつながりがうまれる、きずなを結ぶまち」としました。</p>